

巻頭言

「誌上フォーラム」へ

林 文子

当財団活動も3年目に入りました。いろいろな分野の方々の暖かい御配慮ご助言を受けまして、円滑に事業活動を進めてまいりました。

ふたたび本財団の事業についてその概要を申し上げます。1. 健康文化に関する研究会等の開催；健康文化フォーラム、健康文化についての研究討論会の開催。2. 健康文化に関する情報及び資料の収集並びに図書等の発刊；健康文化に関する既存の図書、雑誌、医用画像情報等の収集を行う。健康文化フォーラムや研究会の成果を出版。そして会報の発刊。3. 健康文化に関する研究活動に助成費を支出する。4. 医療技術情報の提供；医療技術に関する教材を編集作成し、留学生等希望者に配布する。留学生を対象に医療技術教材をもとに指導を行う。5. その他本財団の目的を達成するために必要な事業として、関係機関に健康文化に関する意見具申を行うことであります。

医療技術に関する教材では、ソフトウェアN I E S（日本語と英語）とそのコンピュータ表示画像の解説書 ILLUSTRATED GUIDE TO NUCLEAR MEDICINE IMAGE、また医用画像-頭頸部-をすでに発刊し、ビデオ教材等を編集しております。

前号に、三島市で開催した「'90健康文化フォーラム」の内容を掲載しました。このような機会を設けることは大変有意義で是非続けたいと思っております。重要な事業ではありますが、多くの方々に参加頂くことができない場合には、その記録を掲載して読んでいただくほかはないと思います。このような次第ですから、時間と場所に制約されない自由な討論、意見の交換を原稿として折りある毎にお寄せいただくことの必要を痛感します。

この紀要には、記載制限のないどなたでも参加していただくための紙面を設けております。直接、日常生活に関わりのあるテーマで、いわば「誌上フォーラム」のような、紙面の展開になれば幸いと存じます。先人から今日の我々に引き継がれてきた生活文化を振り返り、また創造し積み上げて、次の時代に伝えてゆける足がかりにしたいと願っています。

(健康文化振興財団理事長)